特別の教科　道徳　授業づくり講座　～室戸市立吉良川小学校　第２回授業研究会～

令和元年９月１７日（火）

（主題名）日本の心　Ｃ（16）【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】
（教材名）「『おもてなし』ってなあに」　小学どうとく　生きる力　３（日本文教出版）
授業者　横山　静香　教諭

教材研究会を受けて

日本　郷土

（おもてなしの心の中にあるもの）
日本が好き・郷土が好きという思い

【変更点】「日本の文化のよさ（おもてなし）」を「吉良川のよさ（郷土愛）」につなげるために、橋渡しの部分である「おもてなしの心の中にあるものとは何か？」という問いを持たせる。

【工夫点】ゲストティーチャーの話や質問の時間を長くとり、地域の方の心の中には、郷土を愛する思いがあることに気付かせる。

【授業を通して引き出したい児童の考え】

・おもてなしの心の中には、自分が住んでいるところが好きだという思いがある。

・自分では無意識にしていたおもてなしがある。続けていきたい。

・吉良川が好きだから吉良川のいいところを広めていきたい。

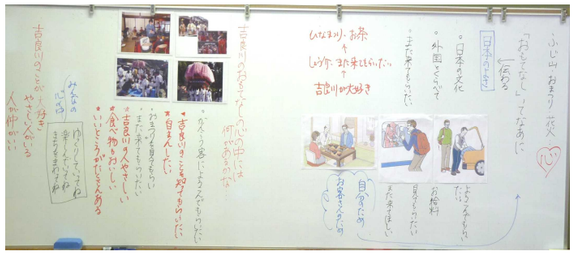
本時のねらい

日本に「おもてなし」の伝統・文化があることを知り、ゲストティーチャーの話を聞いて、郷土を大切にしている人の思いに気付き、自分たちの郷土のよさについて考えることを通して、郷土を愛し大切にしていこうという心情を育てる。

指導の要点

日本や自分たちの郷土には、その伝統や文化を築き、支えている人たちの思いがある。その思いに気付き、感じることで、自分たちも郷土を大切にしていこうとすることについて考えを深めさせたい。

本時の展開と板書



学習活動　〇主な発問◆問い返し	児童の反応
１．日本のよさについて考える。 〇日本のよさを外国の方に紹介するとしたらどんなことを紹介したいですか。	・富士山・パン屋・お祭り・花火大会・避難訓練
２．教材を読んで話し合う。 〇何のためにおもてなしをしているのだろう。 ◆おもてなしの心はどうして生まれてくるのだろう。	・喜んでもらいたいから。また来てほしいから。仕事だから。自分のためでも、お客さんのためでもある。 ・どうしてだろう。
３．ゲストティチャー（地域の子ども教室の方）の話を聞く。 〇どうして喜んでほしいのだろう。 ◆おもてなしの心の中には何があるのだろう。	・自慢したいから。盛り上がって、心が燃えてくるから。 ・他の町と比べ物にならないくらい、一番いい町という思い。吉良川が大好きという気持ち。
４．学習を振り返る。	・吉良川にもおもてなしがあることが分かった。 ・地域には優しい人がいっぱいいることが分かった。

事後協議

【視点①】　多面的・多角的な見方の広がり

相手に気持ちよく過ごしてほしいと思う心も「おもてなしの心」であるなど、日本や郷土の文化のよさを様々な視点で考え、見方を広げているか。

ゲストティーチャー活用の工夫

〇ゲストティーチャーの活用で、当たり前だと思っていたことを吉良川のよさとして捉え、新しい見方を広げることができていた。話を聞く必要性や目的をもっと子供たちにもたせるとよい。

〇ゲストティーチャーの話を途中で区切ったり、キーワードで可視化したりすると、子供たちの思考を深めることができるのではないか。

〇「吉良川が好き」だけでなく、「楽しんでもらいたい」「自慢」という子供たちの言葉を生かして郷土愛について掘り下げていけたのではないか。

【視点②】　自分との関わり・生き方

自分が今まで見たり受けたりしたおもてなしを振り返り、自分事として捉え、これからの自分に生かそうとしているか。

発問・話し合いの工夫

〇ゲストティーチャーの話の前に「吉良川にもこんなおもてなしがあるの？」と問い、自分への振り返りが必要ではないか。

〇自分たちの考える吉良川のよさを考えるためには、それぞれが思う吉良川のよさについてグループ討議をするとよい。

講師：高知大学　森　有希　准教授より

①　構造的な板書で視覚支援し、思考の深まりを助けよう。

目に見える行動でのおもてなしを目に見えない心や郷土愛につなげ、思考を深めるためには、概念的なものを構造的な板書によって視覚的に支援し、具体化することが効果的である。

①教材から大きな問いを待たせる

構造的な板書例と発問例（点線）

日本のよさってたくさんある。「おもてなし」も日本のよさなんだね。どうしておもてなしってするのかな？

日本
富士山・おまつり
花火・文化
おもてなし

★移動

吉良川
人が優しい・食べ物がおいしい・いいところがたくさん
おもてなし

②【自分との関わり】【多面的・多角的な見方】で考えさせる

吉良川にもそんなおもてなしってある？
★（おもてなしカードを移動する）
どうしておもてなしをするのかな。心の中をゲストティチャーにも聞いてみよう。

喜んでもらいたい。知ってもらいたい。自慢したい。
見てもらいたい。また来てもらいたい。ここが大好き。

③道徳的価値レベル

みんなもおもてなしをしたことがある？そのとき、心の中にはどんな気持ちがあるのかな？自分に尋ねてみて。

②　通知表の評価はよさの実況中継で、指導要録は大きなまとまりで記述しよう。

通知表の例：学習状況の頑張りやよい点を実況中継のように書き、様子を伝える。

【児童のワークシート】
地域の人はみんな優しい人がいっぱいいることが分かったし、花台は地域の人との仲を深めるためにもあるのかなと思いました。

【通知表文例】郷土に関する学習では、吉良川の人たちの優しさを捉え、「花台」には、地域の人の仲を深める意味があるのかなと、自分自身の見方で地域の行事の意義を考えることができていました。

指導要録の例：１、２学期は具体的に評価し、３学期は要録を意識してまとまりを踏まえた記述にするなど。

要録	１学期	２学期	３学期
さらにまとまりを踏まえて記述	具体的な記述		まとまりを踏まえて記述

※あくまで一例であり、児童生徒や学校の実態を踏まえ全教職員で共通認識していくことが大事。